



【100人調査】一番転職しているのはココだ

野村証券からの転職先業界 ベスト5

YHC
Yamato Human Capital, Inc

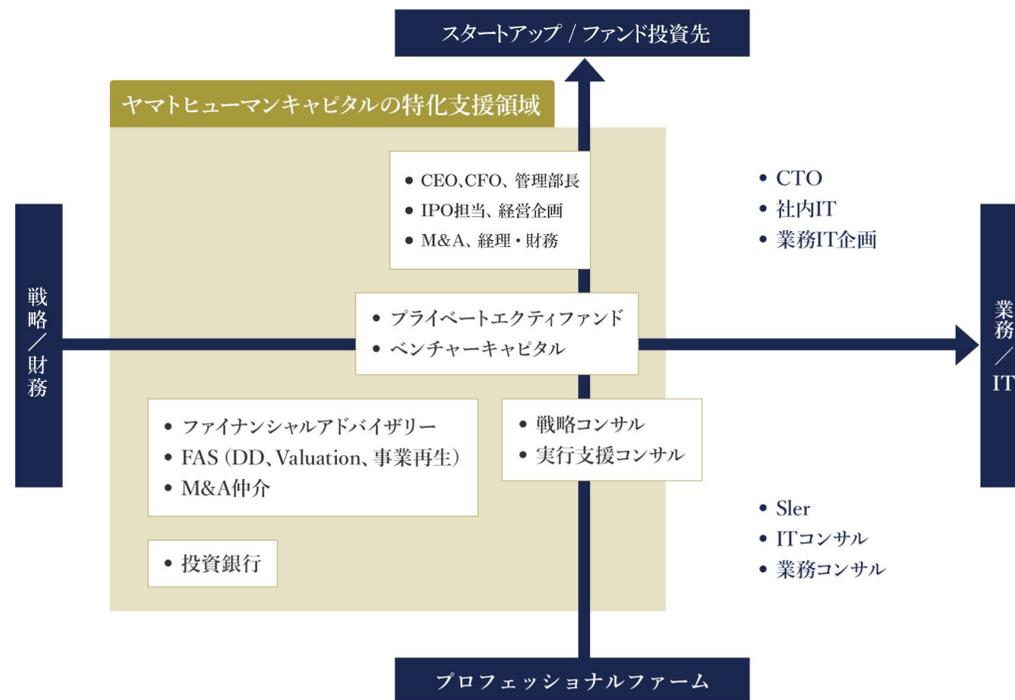
ヤマトヒューマンキャピタルについて

ヤマトヒューマンキャピタルは「経営×ファイナンス業界」の転職支援に特化した転職エージェントです。



転職支援の特徴

- ✔ 業界の求人カバー率NO.1
- ✔ 未経験可求人の豊富さ
- ✔ 応募書類対策・面接対策の徹底
- ✔ 一生涯のキャリアアドバイザー



第5位 アセットマネジメント業界/日系大手メーカー

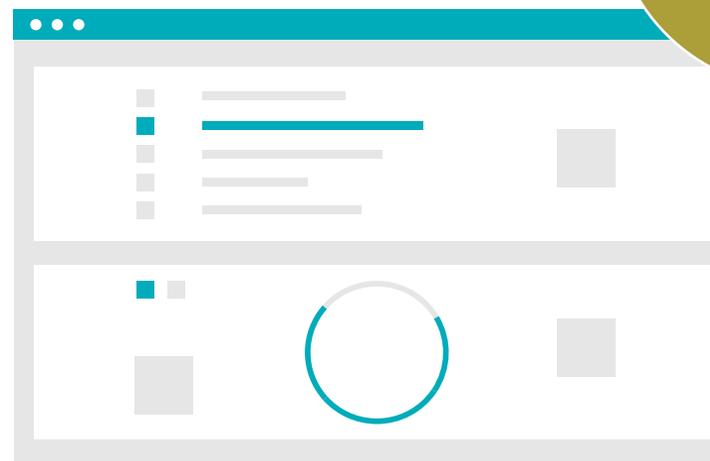
5位

アセットマネジメント

証券会社の販売部門や銀行に対して自社の投資信託を販売するポジションへの転職、経営企画のポジションで転職した方も。

日系の大手メーカー

電気系の会社のリテール営業から転職した方が多く、投資銀行部門からは大手のゲーム会社やエレキ系の会社のM&A部門、経営企画というようなポジションに転職している方が多く見られました。



第4位 M&A仲介会社

M&A仲介会社

M&A仲介会社は非常に人気の業界です。ここ10年でかなりの数の証券マンが転職されていると思います。

大手3社である、

- ・日本M&Aセンター
- ・M&Aキャピタルパートナーズ
- ・ストライク

この3社に転職されている方が多かったのですが、スタートアップ系の仲介会社に転職された方も。



第3位 投資銀行

投資銀行

外資系の投資銀行に関してはM&A、資本市場系のポジション、ディーラーやトレーディングへの転職も。日系に関してはメガバンク系の投資銀行部門、ネット証券系の投資銀行部門などに転職される方が多くいました。

外資投資銀行への転職

野村証券からの転職で一番多いのは、投資銀行部門に転職し、その後外資の投資銀行に行くというパターンです。リテール営業からであっても日系の一部の投資銀行でしたら転職できますので、直接外資は難しくても、まずは日系企業に入ってから外資系の投資銀行を目指すという道があります。

3位



第2位 コンサルティング業界

コンサルティング業界

いわゆる総合系ファームと言われるようなデロイト、アクセンチュア、IBMコンサル、KPMG、EY、ベйкаレント、など総合系ファームとが一番多くみられました。また、独立系のコンサル、中小中堅企業向けのコンサル、特定の業界に特化してヘルスケア特化のコンサル、製造業特化のコンサルなど、特定の業界特化型のコンサル転職者も。

出身部門

ほとんどの方がリテール営業や本社の企画部門から転職しています。やはり金融で営業をしていると、事業の経験を積むことが難しく、事業寄りの領域にあこがれる方が多いのではないのでしょうか。



第1位 スタートアップ企業

スタートアップ企業

スタートアップの中でも領域として一番大きかったのはHR TECHです。ビジョナル、人材紹介会社のフォースタートアップ、またHR銘柄で上場されている会社も増えています。次に、管理部門系のDXを進めるSaaS系の会社です。時価総額1兆円以上のメガベンチャー系の会社への転職も見られました。フィンテック系、宇宙、VR、AIなど本当にスタートアップらしい領域の企業への転職者も。

転職ポジション

ポジションは営業、未経験の事業開発、経営企画系のポジションが多数。一部スタートアップでCFOをされている方や、営業部長への転職した方もいました。



野村證券からの転職先業界ベスト5

1位

スタートアップ企業

2

コンサルティング業界

3

投資銀行

4

M&A仲介会社

5

アセットマネジメント業界/日系大手メーカー

転職先業界の個別の企業名については、面談でお伝えいたします。

経営×ファイナンス業界転職支援実績No.1

ご相談・ご質問がある方はお気軽にお問い合わせください。

- 1 志望業界の**非公開&未経験OKの求人**をご紹介
- 2 志望業界転職後の**キャリアの選択肢**を解説
- 3 志望業界の**マイナス点、個別企業ごとの優劣**をご説明
- 4 志望企業へ**社長や幹部経由の特別ルートでの応募**も可能
- 5 内定を取り切る**マンツーマン面接対策**を実施

☆志望業界に直接転職できない方も、**1社挟んで業界にたどり着ける最短ルート**を伝授

無料でキャリア相談 ▶

https://yamatohc.co.jp/lp-3/?linkid=https://yamatohc.co.jp/dd/nomura-best5-download_thanks/